

ダイバーシティとくしま推進方針（素案）について

1 策定の趣旨

社会の多様化が進む中、人口減少や労働力不足といった課題を克服するためには、誰もがいきいきと活躍できる「ダイバーシティ社会」の推進が欠かせない。

行政のみならず、個人、企業、地域社会において、「ダイバーシティ」の価値を理解し、それぞれの活動に溶け込ませていくことが重要であるため、その理念と方向性を県民の皆様に分かりやすく示す「推進方針」を策定する。

（※「ダイバーシティ」とは、本方針では、多様な個性が受容されて、誰もがいきいきと活躍し、違った個性や能力の相乗効果が新たな価値を創出するという意味で使用しています。）

2 ダイバーシティの基本的な考え方

（1）徳島県の特長

（2）ダイバーシティの効果（メリット）

- ちがいを受け入れることで、考えが広がる。
- 多様な個性と能力の相乗効果により、新たな価値を創造できる。
- 居場所ができることで、誰もが存分に力を発揮できる。

3 取組みの方向性

（1）めざすべき姿

多様な人々が共生し、交流し、活躍する Tokushima

（2）取組みの指針

共生	ちがいを知る	人はすべてちがう。そのちがいに気づくことは、他者と共に生きるために重要である。
	考える	ちがいの背景に何があるのかを考えることで、他者への理解、多様性への理解につながる。
	認め合う	ちがいを認め合うことで、それぞれの居場所が生まれ、みんなが安心して暮らすことができる。
交流	つながる	互いに接し、つながることで、豊かな人間関係の構築や充実した仕事・生活が可能になる。
	協働する	一緒になって一つのことに取り組むことで、新たな刺激となり、気づきや発想を得ることができる。
	互いに支え合う	誰しも人を支える力があり、人の支えを必要としない人もいない。互いに支え合うことが重要である。
活躍	チャレンジする	活躍している人は、みんなチャレンジしている。自己実現のため、一人ひとりが果敢にチャレンジする必要がある。
	チャレンジを応援する	人はみんな役割を持ち、活躍できることを願っている。他者のチャレンジを応援することが一人ひとりの活躍につながる。
	仕組みを変える	社会のシステムやルールを多様かつ柔軟に見直ししていくことで多様な人々の活躍につながる。

4 スケジュール

- 令和 2 年 1 2 月 パブリックコメント実施
- 3 年 1 月 ダイバーシティとくしま推進会議（最終案とりまとめ）
- 2 月 総務委員会に最終案報告
- 3 月 策定・公表